



千葉大学医学部ヨット部報

Vol.30 2017/7月吉日

はじめに

今年も連日厳しい暑さが続いておりますが、先生方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。私たち千葉大学医学部ヨット部は、今年度も5月に新入生を6人迎え、今は江の島での合宿の期間に入っております。

夏の東医体を控え、部員一同、優勝に向け切磋琢磨しております。このように日々、海上で練習に打ち込めますのも、先生方の温かいご支援のおかげと部員一同感謝いたしております。

本報では、ヨット部 OB 会長山浦先生、部長清水先生のご挨拶、また千葉大学全学ヨット部の監督であり、我々医学部ヨット部の監督もしてくださっている斉藤威総監督のご挨拶、今年度入部した新入生の紹介、そして今年の夏の東医体レースメンバー挨拶をお届けいたします。

OB 会長挨拶 「すっかり変わった横浜港」

OB会長 山浦 晶 (昭和40年卒)

私の所属する日本脳神経外科コンGRESS総会(2017年)は横浜のインターコンチネンタルホテルで行われた。高層ホテルから見る横浜港は、学生時代にヨットレースに興じた地域とは思えないほどの変わりようである。

眼下にひろがるハーバーには貨物船はなく、小中型の観光船が静かにゆきかい、海上保安庁所属らしき白い船体が数隻見えるだけである。時に有名な豪華客船が富裕層の客を乗せて、その白い巨体を寄せることもあるようだ。

すっかり都会じみた港になってしまっている。

あの頃の横浜港は水も汚れていたし、材木やゴミも浮いていた。材木がびっしりかたまって浮いているとあたかも歩いて渡れそうに見え、海水に落ちてしまうものもいた。湾をわたるブリッジもなかった。

横浜港は半世紀をかけてここまで洗練し、すっかり別の世界になってしまった。活気に満ちたヨット乗りは、こぞって江の島へ移ってしまった。

私は、ホテルの窓から暮れなずむ横浜港を見下ろしながら、懐かしい思い出に浸った。

思い出は美しく甘いものばかりではない。ヨットは引き上げると、舟底を上に向けて次の朝まで野ざらしであった。シャクルなどはずせる備品はすべて宿舎に持ち帰らないと、次の朝にはなくなっている。学生の使用艇は、スナイプとA級ディンギーであった。部員は汚れて破れかけたジー

ンズにジャンパーを身に着けていた。現在はわざわざストーン・ウオッシュにさらに裂け目を入れたジーンズがファッションのようだが。当時のいでたちはファッションではない。現在活躍する諸君もまるで別の世界のファッションを身にまとっている。

平成 29 年 7 月 14 日

医学部ヨット部OB会での千葉大学SEED基金の活用

清水栄司 (平成 2 年卒)

医学部ヨット部のレスキュー艇のエンジンが突然、壊れてしまい、50 万円で買い替えが必要になりました。今回、医学部ヨット部の OB 会の先生方におかれましては、山浦晶 OB 会長のご許可のもと、約 100 名の先生方に、1 口 5 千円以上でご寄付をお願いすることになりました。この夏部報の発行にあわせて、お願いする次第です。何卒ご支援をいただきますように、よろしくお願い申し上げます。

ヨット部という部活動は、現役を経験された OB の先生方は、皆様ご存知の通りですが、何分にもお金がかかるものであります。今後も、470 艇やセール、レスキュー艇などの定期的な出費がある場合に、千葉大学 SEED 基金 (<http://kikin.chiba-u.ac.jp/>) を使う方法が考えられます。

この方法は、斉藤威総監督が体育会ヨット部の OB 会「ほたて会」で、クルーザー艇「くろしお V 世」を購入する時に活用した方法です。

近年の大学の厳しい経営状況から、特定の部活動に対する課外活動経費などには国や大学からの補助がつかない状況です。「くろしお」は、昭和 30 年代に、当時の文部省の予算で購入してもらった初代のクルーザー艇以降 4 代に渡り、体育会ヨット部が学生の課外活動にて使用してきておりましたが、4 代目クルーザー艇が 20 年以上経過し、老朽化のため、艇の買い替えが必要とされた時に、文部科学省や大学からの補助は考えられない状況のために、学生の安全と課外活動の維持のために、500 万円を目標に OB 会で有志からの寄付金として、使用目的をクルーザー艇の購入に限定する形で、千葉大学の SEED 基金に寄付し、1,200 万円集まりました。その金額で、2015 年に、5 代目の新しいクルーザー艇を購入する一方で、古い艇を処分いたしました。

同じように、今後、医学部ヨット部 OB 会で、千葉大学 SEED 基金室（本部の渉外企画課）のご担当の方と相談しながら、十分な準備のもと、470 艇やレスキューボートの購入、管理に使用目的を限定する形で、千葉大学の SEED 基金に寄付を行い、その金額で、新艇の購入を行う方法が考えられます。もちろん、その実現可能性につきましては、現役の部員の皆さん、OB 会の先生方のご理解をいただくのが、最初であります。

今後、冬の OB 会などで、現役学生の部活動を支援するための基金の活用につきまして、ご検討をいただければ、幸いに存じ上げます。その上で、千葉大学の SEED 基金室などと、事前の交渉が必要になると思います。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

また、艇の保険につきましても、民間の保険から国立大学法人総合損害保険（ヨット・モーターボート総合保険、船体保険特約 搭乗者傷害危険担保特約 搜索救助費用担保特約 レース中損害不担保特約）に加入することを検討したいと思います。

（なお、国大協保険については、今回のエンジンの故障のような事故ではない場合は、使用できません。）

頑張れ新入部員

齊藤 威 総監督

1年生の皆さん。入学おめでとう。そしてヨット部入部おめでとう。

皆さんは大変賢明な判断・決断で、部活を選びましたね。これからの6年間、ヨット部で充実した学生生活を送れるものと確信しています。

そこで皆さんに二つのことを伝えたいと思います。

一つは続けること、やめないこと。です。

入学式では徳久学長から新入生にメッセージが送られましたが、その一つにいろんなことにチャレンジするよにとのメッセージがありました。積極的なチャレンジで得られた幅広い経験が広い視野を持つ人間を育てるということです。その通りだと思います。だからと言っているんな部活を渡り歩くことではありません。一つの部活の中で、自分の考えをもって、自分で創意工夫して、多くのチャレンジに挑むこと。一つの部活の中で、うまくいかなかったら何がその原因か、うまくいったら何がその要因かをしっかり分析しましょう。よく「歴史から学ぶ」ということが言われますが、「失敗はその原因を。成功はその思いを学べ。」ということ。そのうえで、また新たなチャレンジをすること。その積み重ねで、徳久学長のいう幅広い経験が得られるものと思います。そして部活を通じて深い人の絆が生まれる。人を介して知性と教養が得られることになります。ぜひともヨット部を続けてください。

もう一つは勝つこと、負けないこと。です。

これは部活を続けることも含めてですが、体育会のヨット部はインターカレッジ戦では毎年全日本に行き上位の成績を取ること。クルーザー班のくろしおは日本一になってフランスでの学生ワールドに出ること。そして、医学部は東日本医科生大会で優勝すること。これらが勝とうという目標です。

皆さんはついこの前までは受験戦争でしたが、これは勝つことが **Must** で、勝たないと入学できないという勝負でした。しかし部活では結果だけが問われるものではなく、目指す結果を求めてどれだけ練習できたか、どれだけ努力できたか、どれだけ工夫できたかが問題ではないかと思うところです。まずレースでは勝つことに対する強い思いが必要です。思いのないところに何も生まれません。そして勝つための方策を考えることとその確実な実行が求められます。このことを部員みんなが心がけ、各自がなした時に部活に勝ったといえるのではないのでしょうか。このことがおろそかになると部活の意味が薄れてしまい、このことが負けということになってしまいます。みんなのヨットレースは団体戦です。部員全員が、1年生も勝ちに向かっていく気持ちがあふれている。そのような部活であることが大事です。活気のない部員がいるとレースに勝てない。勝とうという思いと、方策と実践。これです。このことに勝つことが部活における勝つということ。そしてその結果としてレースでも勝つことができるでしょう。ぜひ1年生も勝ち組の一員になってほしいと思います。



今年度千葉大学全学医学部ヨット部合同での新歓コンパの様子
今年も多くの新入生が入部してくれました。

新入部員の言葉

2017年度新歓コンパにて、医学部ヨット部の方では、6名（男子4名、女子2名）の新入生が入部いたしました。

夏まではヨットに乗る機会こそ多くはないものの、ヨットという新しい競技をに触れ、積極的に吸収しており、これからの益々の成長に期待しております。

これから先もますます大きくなっていくヨット部の原動力となっていくてくれると思います。それでは新入部員たちの挨拶です。

岡本 和也（海城）

初めての競技でわからないことも多いですが、先輩方に助けていただいて、17のメンバーとともに頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

片山 一志（横浜サイエンスフロンティア）

ヨットは、まるっきりの初心者でわからないことだらけですが、先輩のおっしゃることをしっかりと聞き、同学と助け合い、ちゃんとヨット部の一員となれるよう頑張ります！

川島 泰世（県立千葉）

まだまだわからないことが多いですが、先輩方を見習い、いいヨット乗りになれるように努力していこうと思います。宜しくお願いします。

菅波 創太郎（県立千葉）

ヨットのことはまだ何となく楽しそう、と思ってるだけですが、これからたくさんヨットを学んで、その難しさ、深さ、そして楽しさを感じられるようにがんばります。よろしくお願いします。

浜辺 美波 (女子学院)

入学手続きの日までは存在も知りませんでしたが、医学部ヨット部に出会えて、こうして入部させていただくことができるとても幸せです。自分で選んだ道なので、苦しくても同輩 5 人と素敵な先輩方と、最後までやり抜きたいと思っております。よろしくお祈いします。

森田 夏希 (市川)

ヨット部に入部できてとても嬉しいです。真剣に練習して充実した 6 年間にしたいと思ひます。

2016 年 東医体レースメンバー紹介

今年も、医学部ヨット部の最大の大会である東日本医科学生総合体育大会（東医体）が近づいてきました。本戦は、8/4～8/6 に、江の島ヨットハーバーにて行われる予定です。5 日と 6 日には観覧艇も出航致しますので、是非、レースの応援にお越しくたさい。

レースメンバー：5 年生 3 名，3 年生 6 名，セールナンバー：4581. 4486. 4413 で出場します。

それでは今年のレースメンバーの挨拶です。



レースメンバー全9名 @江の島ヨットハーバー

左から順に、
辻本、生嶋、村田、八木、遠藤、
榎並、志村、西川、篠原

スキッパー

遠藤 雄二

優勝目指してレースメンバー一同最後まで頑張ります。応援よろしくお祈いします。

西川 侑成

9人で一致団結して優勝を勝ち取ろうと思ひます！応援のほどよろしくお祈い致します！

生嶋 光

みなさまのサポートがあつてここまでやってくることができました。この5年間の集大成として東医体優勝を目指して頑張ります。応援よろしくお祈いいたします。

クルー

榎並 奏

クルーとしての集大成を出しきり、後悔のないよう全力で走ってきます！応援よろしくお祈いします！

篠原 雅貴

今まで練習してきたことを信じて、最後まで諦めずに走り切ります！

志村 和佳

4486スキクル3人で力を合わせて頑張ります！応援よろしくお祈い致します。

辻本 慈瑛

この2年間積み上げてきたものを信じて本番も頑張ります！応援よろしくお祈いします。

村田 桜子

遂に自分がレースメンバーとなった東医体。様々な方のサポートあってこそこの東医体であることを忘れず、スキッパーを支えながら、今までで1番と言えるような走りをしたいと思います。応援よろしくお祈い致します。

八木 はるか

スキクル3人で2年間、東医体優勝に向けて頑張ってきました。東医体では、前を走り、チーム全体を引っ張っていきたいです。レースメンバー9人で、力を合わせて頑張ります。応援よろしくお祈いします！

医学部ヨット部の夏の日程

8/2～8/6 東医体（江の島ヨットハーバー）

8/2 プレレース

8/3 女子レース

8/4～8/6 本戦（6日に引退式・幹部交代式）

8/8～8/10 関東医科歯科学学生ヨットレース（江の島ヨットハーバー）

8/8 プレレース

8/9～8/10 本戦

8/14～8/16 稲毛合宿（稲毛ハーバー）：1年クルー・2年スキッパー養成合宿

2016年度 現役部員名簿

部長	清水 栄司教授	4年	主務	佐藤 玲子	2年	鶴梶 真衣
6年	長久保源太			高橋 誠志郎		逢坂 太郎
	大和田彩夏			林 亮佑		小関 遥
	石原 慶			凌 将登		埴 夕稀子
	駒井 佑哉		主将	和田 七海		渡邊 怜
	島田 遼	3年	会計	千葉 えみり	1年	岡本 和也
	中島 理子			榎並 奏		片山 一志
	相原 優美			篠原 雅貴		川島 泰世
5年	阿部 照			志村 和佳		菅波 創太郎
	遠藤 雄二			辻本 慈瑛		浜辺 美波
	西川 侑成			村田 桜子		森田 夏希
	廣川 友美			八木 はるか		
	張本 英男					
4年	生嶋 光					

スクラブ作りました！

OBの先生方から多くのお声をいただいておりますので、今夏、「千葉大学医学部ヨット部スクラブ」を作らせていただきました。

サイズにつきましては、右を参照いただければと存じます。お値段は1枚10000円とさせていただきます。東医体にお越しいただけます先生は、お越しの際にぜひ実物をご覧ください。

また、東医体にお越しただけず、ご購入をご検討していただけます先生は、私、主務の佐藤までご連絡をお願いいたします。こちらからお渡し、もしくは郵送にてお送りさせていただきたいと考えております。

是非、この機会に「千葉大学医学部ヨット部スクラブ」を宜しくお願い致します。



(色はダークネイビーとなっております。)



<ご連絡先>

4年主務 佐藤玲子

080-3486-9427

r.sugar2512@gmail.com

rei_sugar25.m460@i.softbank.jp

	着丈	肩巾	胸囲	袖丈
S	65	42	104	19
M	67	46	112	20
L	70	49	120	21

あとがき

現在、私たち千葉大学医学部ヨット部は、東医体優勝に向けての夏の合宿期間に入りました。

昨年納艇いたしました1番艇（セールナンバー4581）はじめ、全8艇を江の島に運び、整った環境で活動を行うことができますのも、日頃からの諸先生方の御支援御協力のおかげと、部員一同、大変感謝しております。

今年の夏も、先生方に良いご報告ができますよう部員一丸となりまして精一杯頑張っておりますので、今後とも温かいご声援をどうぞよろしくお願い致します。

9月には稲毛ヨットハーバーにてOBレースを予定しております。詳細は追ってご連絡させていただきます。ご多忙の折とは存じますが、多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。

私たちの活動状況・レース結果について、Facebookに掲載しております。日ごろの活動の様子が分かる、と多くOBの先生方にご好評をいただいております。

www.facebook.com/chibamedyacht

Facebookアカウントをお持ちでない場合も、Webで上記URLを検索していただくとページをご覧いただけます。アカウントをお持ちでしたら、ページ内の「いいね！」を押していただくと、ページの最新情報をすぐにチェックできるようになります。たくさん「いいね！」をお待ちしております。お時間のある際には、是非ご覧ください。



編集後記

千葉大学医学部ヨット部夏の部報も、おかげさまで第30版を迎えることができました。今回の発行にあたり、ご寄稿いただきました先生方には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。冬には、夏の大会の結果を載せた部報を発行する予定です。先生方に良い結果をご報告できますよう、夏の東医体・関東医科歯科戦ともに部員一同、全力を尽くしてまいりますので、どうぞご期待ください。

4年主務 佐藤玲子